



「知的財産推進計画2025」の進捗状況

令和8年3月23日
知的財産戦略推進事務局

「知的財産推進計画2025」の進捗状況

(1) コンテンツと地方創生の好循環プラン

- (2) 世界から求められる体験価値化、高付加価値化を推進する
- (3) マーケット目線のブランディングにより海外の市場開拓・拡大を図る
- (4) 国際的な政治・経済情勢リスクへの対応
- (5) 日本ファンの拡大に向けて発信力を強化する

「知的財産推進計画2025」の進捗状況

(1) コンテンツと地方創生の好循環プラン

- コンテンツを起点とした経済波及効果の大きい官民連携による地域一体となった取組について、コンテンツ地方創生拠点として選定を行い、2033年までに全国約200か所の選定を目指し、地域経済の活性化を図る。

知的財産推進計画2025の方向性

- アニメ・映画等のコンテンツの魅力を活かした地域一体となった取組をコンテンツ地方創生拠点として選定し、関係省庁や自治体、関係経済界等と連携して取組を促進

- フィルムコミッション（FC）、許認可権者、製作者等が取り組むべき事項等をまとめたハンドブックの周知、英語版パンフレットの作成・海外への発信

- 「フィルムコミッション」等の運営や連携の在り方、ロケ地におけるライセンスの在り方について検討し、ガイドライン化し、国としての顕彰の制度化の検討

主な進捗状況

【知財】 コンテンツを起点とする経済波及効果の大きい地域一体となった官民連携の取組をコンテンツ地方創生拠点として選定する等により、クールジャパンを活用した地方創生の取組を加速。

【観光庁】 アニメ、映画等のコンテンツを含む地域資源を活用した観光コンテンツの造成を支援。

【文化庁】 日本博事業において、アニメ・映画などのコンテンツを含む地域の文化資源を活用した取組を支援。

【知財】 ハンドブックの分かりやすい資料や英語版を公表するなど、更なる周知のための取組を推進。

【消防庁】 全国の消防本部に対してガイドラインの改訂等を周知。

【経産省】 特定非営利法人ジャパン・フィルムコミッション（JFC）が主催する「JFCアワード」に経済産業大臣賞を新設し、ロケ地の聖地化の優れた取組を顕彰。

「知的財産推進計画2025」の進捗状況 (1) コンテンツと地方創生の好循環プラン

知的財産推進計画2025の方向性

□ ロケ誘致による産業振興を効果的に実現すべく、VFXを含むポストプロダクション工程も含めた誘致に向けて、インセンティブ付与及び効果的な運用、インセンティブ付与対象作品の円滑な撮影に向けた支援を検討するとともに、ロケ地域での完成作品の活用の推進

□ 観光促進のためのコンテンツの活用等、ロケツーリズム、アニメツーリズムの推進に向け官民一体となった取組の推進

□ 高付加価値旅行者等によるアニメやマンガ等の「ゆかりの地巡り」について、地域の関係者がコンテンツの関係者と連携した地域の魅力発信の取組の推進

□ メディア芸術分野の振興のための機能をもつ「メディア芸術ナショナルセンター」（仮称）の拠点整備に向けた取組を推進

主な進捗状況

【経産省】VFXを含むポストプロダクション工程も含めたインセンティブ付与を引き続き実施。また、知財との連名で事務連絡を発出し、インセンティブ付与対象作品の周知とともに、ロケ誘致・撮影の許認可手続への適切な対応を依頼。

【知財】ロケ撮影を円滑に進める上で必要な情報、取り組むべき事項、留意すべき事項等について関係省庁でまとめたロケ撮影ハンドブックの分かりやすい資料や英語版を公表するなど、更なる周知を実施。

【観光庁】ロケ地を活用した観光コンテンツ造成を支援するとともに、ロケツーリズムを推進する民間事業を支援。

【知財】大阪・関西万博を日本の魅力を世界に発信する好機として、アニメ・マンガのゆかりの地26団体による地域の魅力の展示、ステージプログラム、コンテンツの魅力を発信する展示等を行い、それらを体験した外国人に対する行動・意識調査を実施。調査結果については、成果報告会を実施し、関係省庁やアニメ・マンガツーリズムに関心のある自治体、企業、コンテンツ関係者等に共有。

【観光庁】知財事務局の調査結果や分析結果を地域関係者へ情報提供。

【文化庁】保存・活用に関する調査研究及び国立美術館への専門人材の配置、関係機関のネットワーク強化等を支援。

「知的財産推進計画2025」の進捗状況

(1) コンテンツと地方創生の好循環プラン

知的財産推進計画2025の方向性

- 文化観光推進法に基づく文化観光拠点の整備の促進、文化資源を中核とする観光拠点・地域の整備

- 地域において文化資源の磨き上げ、活用、人材育成を地方創生につなげる「NEXT日本博」(仮称)の創設

- 現代的な文化・情報発信拠点等とするため、民間活力等による国民公園や公的施設の機能を強化

- 自治体や企業等によるアート投資の促進

主な進捗状況

【文化庁】

- 文化観光推進法に基づき、計画を認定するとともに、認定した計画に基づく事業について、補助金や専門家派遣等の支援を実施。
- 地域の歴史的魅力や特色を通じて我が国の文化・伝統を語るストーリーを日本遺産として認定し地域活性化や観光振興につなげる取組を支援。

- 【文化庁】 アニメ・映画などのコンテンツを含む地域の文化資源を国内外に発信し、地域における文化芸術の面的な振興を推進する、新たな日本博事業を実施予定。

- 【文化庁】 北の丸公園に位置する文化施設について様々な相談に乗るなど、各施設の要望に応じた支援を実施。

- 【経産省】 企業とアート・アーティストとの共創を通じて新たな経済的価値を創出した取組を表彰する制度の立ち上げや、新たな共創先となる企業・アーティスト・コラボレーターを紹介するデータベースを構築。

「知的財産推進計画2025」の進捗状況

(1) コンテンツと地方創生の好循環プラン

知的財産推進計画2025の方向性

□ アニメ業界をはじめとした各産業界へ立地、作品の制作、イベントについてのプロモーションや誘致

□ 地域資源を活用した体験コンテンツの開発、高付加価値な観光地づくり（アドベンチャーツーリズム、エコツーリズム、インフラツーリズムなど）

主な進捗状況

【経産省】

「海外向けのローカライズ&プロモーションを行う事業の支援」にて、事業者がコンテンツの海外展開を行う際のプロモーション等に要する費用の補助を実施。

【観光庁】

・高付加価値旅行者の誘致促進に取り組むモデル観光地に対して、魅力的なコンテンツの磨き上げや、販路形成のためのプロモーション等の取組を集中的に支援。
・多様な地域資源を活用した観光コンテンツの造成や情報発信、販路開拓等の総合的な支援を実施。

【環境省】

・国立公園のアクティビティの充実、提供体制整備や情報発信を実施。
・魅力あるプログラムの開発、ルールづくり、人材育成、自然環境保全等、エコツーリズムに取り組む地域に対する総合的な支援を実施。

【文化庁】

・文化観光拠点形成のための人材確保、文化体験に必要な施設・設備の整備等、来訪者の滞在長期化・リピーター化を図る取組を支援。
・文化財を高付加価値化して活用するためのコンテンツ造成や活用のために必要な文化財建造物の改修など、インバウンドの地方誘客を進めるための支援を実施。

「知的財産推進計画2025」の進捗状況 (1) コンテンツと地方創生の好循環プラン

知的財産推進計画2025の方向性

□ 消費額の向上につながる新たな交流市場、観光資源の形成

□ 地域におけるコンテンツを活用した地方創生の実現に向けた取組を支援

□ アニメやマンガ、映画・映像等を活用した地域の高付加価値体験を提供する地方創生の優れた取組、人材等の異業種間連携の促進

主な進捗状況

【観光庁】

・地域への経済波及効果に注目しつつ、持続的に事業継続可能な先駆的モデル事例、企業をターゲットとした地域交流型の新たなプログラムの造成を実施。
・観光地域づくり法人（DMO）が中心となり、地域が一体となって行う、滞在コンテンツ造成や情報発信・プロモーション等の取組に対する総合的な支援を実施。

【地域未来】

地域におけるコンテンツを活用した、地方公共団体の自主性と創意工夫に基づいた、地方創生に資する地域独自の取組を支援した。

【知財】全国各地でコンテンツと地方創生の好循環を実現するため、コンテンツ地方創生拠点の選定及び優れた取組の横展開や効果的な海外発信を促進するために必要な調査検討を行う。

【知財】【再掲】全国各地でコンテンツと地方創生の好循環を実現するため、コンテンツ地方創生拠点の選定及び優れた取組の横展開や効果的な海外発信を促進するために必要な調査検討を行う。

【経産省】産業団体や関係者と世界の作品を対象としたアニメ分野の顕彰制度の創設に向け検討を行った。

【観光庁】ロケツーリズムを推進する民間事業や民間による表彰を後援等により支援。

「知的財産推進計画2025」の進捗状況

(1) コンテンツと地方創生の好循環プラン

知的財産推進計画2025の方向性

□ 異業種の人材交流の場の形成、人材ネットワーク化

【知財】クールジャパン官民連携プラットフォームを通じた勉強会（LAB）等で人材交流の場を形成（コンテンツ産業との他産業の連携のテーマも含む）。

□ 地方の魅力の発掘・磨き上げに取り組む高付加価値化の事例の収集

【知財】クールジャパン官民連携プラットフォームを通じて、アワードでの募集・表彰・発信、モデル事例の調査・発信やクールジャパンを取り巻くテーマを扱った勉強会（LAB）等を開催。

□ 地方の資源をNFT化して流通させ、国際水準の価格で収益を得る仕組みの構築

【知財】地方の資源をNFT化して流通させ、国際水準の価格で収益を得る仕組みの構築するための調査事業を行い、成果報告会を実施。成果報告会内で関係省庁の取組や施策の共有も実施。

□ コンテンツを活用した地域の魅力の発信における訪日外国人観光客視点に立った情報発信の促進

【知財】【再掲】全国各地でコンテンツと地方創生の好循環を実現するため、コンテンツ地方創生拠点の選定及び優れた取組の横展開や効果的な海外発信を促進するために必要な調査検討を行う。

【観光庁】JNTO（日本政府観光局）を通じた戦略的なプロモーションにおいて、様々な観光コンテンツを広く情報発信。

「知的財産推進計画2025」の進捗状況

(1) コンテンツと地方創生の好循環プラン

知的財産推進計画2025の方向性

- 規制改革関連関連制度の利用促進

主な進捗状況

【規制改革推進室・地方創生事務局】各種規制改革関連制度における取組について統合的に情報発信を行うウェブサイトを構築・運用。

【新資本】一元窓口として事業者からの各種規制の問い合わせ対応、イベントへの出展やセミナー等によるサンドボックス制度の周知。

【経産省】「規制対応・規制改革参画ツールの活用に関するガイダンス」を策定するなど、関係省庁と協力した情報発信の強化、規制改革関連制度の特性を整理し制度活用を促進。

「知的財産推進計画2025」の進捗状況

- (1) コンテンツと地方創生の好循環プラン
- (2) 世界から求められる体験価値化、高付加価値化を推進する**
- (3) マーケット目線のブランディングにより海外の市場開拓・拡大を図る
- (4) 国際的な政治・経済情勢リスクへの対応
- (5) 日本ファンの拡大に向けて発信力を強化する

(2) 世界から求められる体験価値化、高付加価値化を推進する

知的財産推進計画2025の方向性

主な進捗状況

- 魅力をストーリーとして適切に伝えられる質の高いガイドの確保・育成、地域一体となったローカルガイド人材の持続的な確保・育成に関する取組の支援

【観光庁】

- ・全国通訳案内士・地域通訳案内士の質の維持・向上を図るため、訪日外国人からの需要が見込まれる分野の研修や若年層向けの講演等を実施。
- ・地域一体となったローカルガイド人材の持続的な確保・育成に関する取組を支援。

- 食文化や農山漁村の魅力と現地での体験等の海外への一元的な発信によるインバウンドによる食関連消費の拡大と地域振興や輸出拡大につなげる好循環の創出

【農水省】

- ・SAVOR JAPAN新規認定地域として3地域を追加（認定地域数は令和7年12月時点で46）。新規認定地域への専門家派遣、認定地域間をテーマでつないだファムツアー、SNS等を活用した海外への情報発信を実施。

- 観光分野のDXの推進

【観光庁】

- ・観光地域づくり法人（DMO）が中心となり、地域が一体となって行う取組に対する総合的な支援、デジタルツールの導入、DX技術を活用した各地域の課題解決モデルの構築等の支援、オーバーツーリズム対策の支援を実施。

- 空港での入国審査待ち時間について、20分以内を目指すなど、革新的な出入国審査等を実現するため、関係省庁と連携した取組の実施

【入管庁】

- ・入管・税関手続に必要な情報を同時に提供する「共同キオスク」を財務省税関と共同で導入し、2025年4月以降、4空港において、順次運用を開始。また、2028年度中の電子渡航認証制度（JESTA）導入を目指す。

(2) 世界から求められる体験価値化、高付加価値化を推進する

知的財産推進計画2025の方向性

□ 農泊地域の実施体制の整備や経営の強化、食や景観の観光コンテンツとしての磨き上げ、国内外へのプロモーション、古民家を活用した滞在施設の整備等

□ 漁村ならではの地域資源を活用した海業の全国展開

□ 国立公園のブランド化の推進、国立公園における滞在体験の魅力向上

□ 食文化の明確化・価値化に向けた取組の支援、日本の魅力ある食文化の保護・継承・活用

主な進捗状況

【農水省】 「農泊地域での年間延べ宿泊者数を令和7年度までに700万人泊とする」目標に対し、令和6年度には868万人泊まで増加。令和7年度は農泊に取り組む91地域への支援に加え、農泊インバウンド受入促進重点地域の海外へのプロモーション等を支援。

【農水省】 改正漁港漁場整備法による「漁港施設等活用事業」の普及をはじめ、「海業の推進に取り組む地区」として86地区（令和6年度末時点）を決定、「海業推進全国サミット」及び「海業推進全国協議会」の開催、さらには、大阪・関西万博における「UMIGYO」等による発信等を実施。

【環境省】 国立公園における滞在体験の魅力向上に取り組む「先端モデル事業」として、4つの国立公園の利用拠点を選定し取組を推進。

【文化庁】 食文化の明確化・価値化に向けた調査研究等への支援、食文化の文化的価値の情報発信、食文化分野における「食の至宝」顕彰の創設。

【農水省】 和食文化の保護・継承を図るため、郷土料理・伝統食のデータベース化と和食文化を継承する人材の育成を推進。

(2) 世界から求められる体験価値化、高付加価値化を推進する

知的財産推進計画2025の方向性

主な進捗状況

□ 文化財保護法に基づく指定等の適切な実施、文化財保存活用地域計画の作成等の取組の促進

【文化庁】
・保存の必要のある文化財の指定等を進め、文化財の計画的な修理や防災対策を実施。
・地域の文化遺産を活用した普及啓発・人材育成等の取組に対する支援、地域の伝統行事等の用具整備や後継者養成等の取組に対する支援を実施。

□ 伝統的工芸品について、産地の後継者育成や技術・技法の保存、需要開拓、表示事業等の取組、一般財団法人伝統的工芸品産業振興協会が行う産地横断的な催事等への支援

【経産省】 各産地における後継者育成や海外含めた需要開拓等の振興事業、及び一般財団法人伝統的工芸品産業振興協会が実施するマーケティング調査や産地横断的な展示等催事に対し支援を実施。

□ 新規需要を取り込んだビジネス戦略への転換、日本ブランドの確立など「化粧品産業ビジョン」を踏まえた検討・取組を実施

【経産省】 化粧品産業競争力強化検討会を立ち上げ、2026年5月に中間とりまとめを公表予定。

□ ファッション産業の国際競争力強化のための持続可能なビジネスモデルやエコシステムへの転換

【経産省】 「クリエイター・エンタメスタートアップ創出事業費補助金」の枠組みの「グローバルファッションIP創出プログラム」により、支援等を実施。

(2) 世界から求められる体験価値化、高付加価値化を推進する

知的財産推進計画2025の方向性

□ ファッションクリエイターやチーム等の事業化を支援し、日本各地の繊維産地とデザイナーを直接つなぐような企画を実施

□ アートの「新たな価値」を形成し、世界に発信していくための国際的な取り組みの実施

□ デザイン資源を活用できる基盤の整備、国内の美術品を保有する機関と連携したアーカイブの在り方の検討

□ 日本初の新たなアート・プラットフォームの実践、国際的なイベントにおけるアートの国際発信に係る取組の実施

主な進捗状況

【経産省】「クリエイター・エンタメスタートアップ創出事業費補助金」の枠組みにおいて、「グローバルファッションIP創出プログラム」により、支援等を実施。

【文化庁】前年度までの成果を踏まえ、「新たな価値」の言語化や国際的なネットワークの構築を通じた「新たな価値」の検討・磨き上げや実証等を実施。令和8年度は予算計上なし。

【経産省】「我が国企業のデザイン資源を活用した海外展開促進事業」によりデザイン資源アーカイブのユーザーニーズ調査や、民間自走に向けた検討を推進。

【文化庁】国際的な影響力を持つアートフェアと連携し、我が国発の新たなアートプラットフォームである「アートウィーク東京」や、アートと音楽の融合により新たな世界観を創出する「MUSIC LOVES ART」を実施。

(2) 世界から求められる体験価値化、高付加価値化を推進する

知的財産推進計画2025の方向性

□ 美術品・文化財管理の国際標準の導入、価格評価事業者認定制度等の基盤整備

□ 革新的な商品・サービスの開発等により高付加価値化を進める中小企業への支援、中小企業/スタートアップの支援、新規参入しやすい環境の整備、新たな技術を活用した取り組みの推進

□ イノベーションを通じた取組が行われていることなどを踏まえた、これまで海外展開が困難であった国・地域での新規マーケットの開拓

□ 多くの分野の連携の創出（「コンテンツ」×「インバウンド」、「食」×「インバウンド」、「自然・文化体験」×「インバウンド」）

主な進捗状況

【文化庁】 国内の価格評価事業者による価格評価実績を蓄積・登録するためのデータ基盤の在り方の検討等、価格評価事業者認定制度の基盤整備等を実施。

【経産省】 既存基金を活用し、中小企業等の革新的製品・サービス開発等に係る設備投資等を支援する「新事業進出・ものづくり商業サービス補助金」を措置。

【知財】 【再掲】 地方の資源をNFT化して流通させ、国際水準の価格で収益を得る仕組みの構築するための調査事業を行い、成果報告会を実施。

【農水省】 鮮度保持技術等に係るイノベーション創出を支援。鮮度保持技術を用いたサプライチェーン構築にかかる投資可能性調査。

【知財】 クールジャパン官民連携プラットフォームを通じて、分野間連携により高付加価値を実現したモデル事例を調査・発信。

「知的財産推進計画2025」の進捗状況

- (1) コンテンツと地方創生の好循環プラン
- (2) 世界から求められる体験価値化、高付加価値化を推進する
- (3) マーケット目線のブランディングにより海外の市場開拓・拡大を図る**
- (4) 国際的な政治・経済情勢リスクへの対応
- (5) 日本ファンの拡大に向けて発信力を強化する

「知的財産推進計画2025」の進捗状況

(3) マーケット目線のブランディングにより海外の市場開拓・拡大を図る

- マーケット目線を更に重視した海外の市場開拓・拡大を図る取組の推進
- ユネスコ無形文化遺産等世界的な評価等の高まり等を踏まえたブランディングの促進
- 中小企業自らが海外市場を理解することによるブランド戦略を展開の推進
- 2025年12月から施行するEUのGI制度の今後の動向を把握し、日本での導入可否を検討する

知的財産推進計画2025の方向性

□ 世界的な価値観、ライフスタイルの変化に合わせたブランド価値の向上による新規市場の開拓、既存市場の拡大

□ 戦略的な海外ライセンスを推進

□ 地理的表示（GI）製品の地域の観光資源としての活用や周知の推進

□ 日本産酒類の海外販路開拓等の支援

主な進捗状況

【農水省】 GI制度の活用推進、米粉の需要創出・利用促進、輸出実績の向上に貢献するJAS等の国際標準化等を推進。

【農水省】 育成者権管理機関の早期立上げ・事業化に向けた取組を推進。

【農水省】 ものがたりを有するGI産品を体験コンテンツの核とし、インバウンド向けツーリズムを造成するとともに、セミナーやシンポジウムなどで広く周知し、横展開を推進。

【国税庁】 海外販路開拓支援、海外向け商品の開発や酒蔵ツーリズム推進等の取組等の支援、GIの普及・活用に向けた取組等を実施。さらに、日本産酒類の競争力強化・ブランド価値向上に資する研究等とその周知を実施。

「知的財産推進計画2025」の進捗状況

(3) マーケット目線のブランディングにより海外の市場開拓・拡大を図る

知的財産推進計画2025の方向性

❑ 海外のマーケティング情報の収集・共有化などの機能の強化



【知財】 クールジャパン官民連携プラットフォームを通じて、海外マーケティング情報を扱った勉強会（LAB）やモデル事例における調査・発信を実施。

❑ 海外における農林水産物・食品ブランド製品の模倣品等の流通を防ぐための対策の推進



【農水省】
・EU及び英国との間でEPAに基づくGI製品の相互保護の取組を実施。
・海外現地やECサイトにおける模倣品調査、農林水産物・食品の模倣品等対策相談窓口による相談対応等の侵害対応を実施。

❑ EPAの対象国であるEUにおいて手工芸品等がGIの対象となることを踏まえた我が国での導入の可否の検討



【経産省】 EUの動向（2025年12月1日から適用）を踏まえ、確認のための議論を開始。

❑ クールジャパン機構を通じた海外需要開拓の支援



【経産省】 世界が直面する様々な社会課題のうち、日本が強みを発揮し得る点を明確に認識し、海外需要開拓の支援に取り組んだ。

「知的財産推進計画2025」の進捗状況

- (1) コンテンツと地方創生の好循環プラン
- (2) 世界から求められる体験価値化、高付加価値化を推進する
- (3) マーケット目線のブランディングにより海外の市場開拓・拡大を図る
- (4) 国際的な政治・経済情勢リスクへの対応**
- (5) 日本ファンの拡大に向けて発信力を強化する

「知的財産推進計画2025」の進捗状況

(4) 国際的な政治・経済情勢リスクへの対応

- 誤情報の是正や科学的根拠に基づかない輸入規制措置の即時撤廃の働きかけや輸出先の多角化、新規開拓
- インバウンドについて、マーケットの多角化・分散、新規開拓
- 国際的な様々な規制の動向等把握

知的財産推進計画2025の方向性	主な進捗状況
------------------	--------

□ 海外マーケットのニーズを適切に把握、輸出先の多角化
新たなマーケットの開拓

【農水省】 ジェトロ・JFOODO、輸出支援プラットフォーム等による新市場の開拓等に向けた商流構築及び海外消費者向け戦略的プロモーションを支援。

【観光庁】 JNTO（日本政府観光局）を通じて国・地域ごとのニーズを踏まえながら、インバウンド市場の多様化に向けた戦略的なプロモーションを実施。

□ 海外における規制の動向を把握し、政府、民間それぞれのレベル、ルートでの適切な対応

【農水省】 輸出先国・地域からの要求等に応じて必要となる日本産農林水産物・食品の安全性を証明する科学的データの収集・分析や諸外国の新たな規則に関する調査・分析を実施。

「知的財産推進計画2025」の進捗状況

- (1) コンテンツと地方創生の好循環プラン
- (2) 世界から求められる体験価値化、高付加価値化を推進する
- (3) マーケット目線のブランディングにより海外の市場開拓・拡大を図る
- (4) 国際的な政治・経済情勢リスクへの対応
- (5) 日本ファンの拡大に向けて発信力を強化する**

「知的財産推進計画2025」の進捗状況

(5) 日本ファンの拡大に向けて発信力を強化する

- 日本ファンの拡大、日本のブランド価値の向上に向けて発信力の強化に取り組む
- 日本ファンの外国人コミュニティやインフルエンサー等との積極的な連携・活用、点ではなく面でプロモーションの推進

知的財産推進計画2025の方向性

主な進捗状況

□ 在外公館やジャパン・ハウス等を通じて、関係府省、関係機関等と連携して、戦略な広報・文化活動を展開

【外務省】
 在外公館や国際交流基金、ジャパン・ハウスを通じた日本の魅力の発信及び諸外国の日本に対する興味・関心を高める取組を実施。
【知財】 クールジャパン官民連携プラットフォームで表彰した映像作品を在外公館等を通じて海外へ発信できるよう調整中。英語WEBメディアでも発信を実施。

□ ジャパン・ハウスの発信力の更なる活用・強化。

【外務省】
 ジャパン・ハウスにおける発信（イベント開催等）においては、関係者間で商的流通等確保の観点に留意した。
【知財】 クールジャパン関係者の取組をジャパン・ハウスを通じて発信していくための検討を実施。

□ 政府の国際広報による情報発信の強化

【政府広報】 内閣の重要施策等について、関係府省等と連携を図りつつ、SNS等を活用し積極的に情報発信を実施。

□ 日本の魅力の海外プロモーション動向などの情報収集

【知財】 関係省庁が行っている日本の魅力の海外プロモーションの実施状況を整理。
【観光庁】 JNTO（日本政府観光局）を通じた戦略的なプロモーションを実施。

「知的財産推進計画2025」の進捗状況

(5) 日本ファンの拡大に向けて発信力を強化する

知的財産推進計画2025の方向性

□ 器や箸など食に関わるモノと一体的なプロモーション

□ 2024年12月にユネスコ無形文化遺産に登録された「伝統的酒造り」の普及啓発活動等

□ 2025年大阪・関西万博における日本の魅力の発信

主な進捗状況

【農水省】 輸出支援プラットフォームと地方自治体が連携して、地域の食・物産品との一体的なプロモーションを実施。

【国税庁】 「伝統的酒造り」に関するPR動画の作成、国税庁HP内の特設ページの開設、各地でのシンポジウムの開催等の様々な普及啓発活動等を実施。

【知財】 【再掲】 大阪・関西万博を日本の魅力を世界に発信する好機として、アニメ・マンガのゆかりの地26団体による地域の魅力の展示、ステージプログラム、コンテンツの魅力発信する各種展示を実施。

【万博】 大阪・関西万博には、約2,902万人が来場、延べ5,473回のイベントが実施され、官民が連携しオールジャパンで日本の魅力を発信した。

「知的財産推進計画2025」の進捗状況

(5) 日本ファンの拡大に向けて発信力を強化する

知的財産推進計画2025の方向性

- 2025年大阪・関西万博における日本の魅力の発信（続き）

主な進捗状況

【文化庁】

- ・日本博2.0事業では、文化資源を磨き上げインバウンドの地方誘客を図る取組を実施。また、大阪・関西万博会場内では、展示ブース等において、日本の伝統芸能の魅力と共生社会の実現に向けた取組等を発信。
- ・食文化の分野では、万博会場内で農林水産省及び国税庁とともに実施した「RELAY THE FOOD～未来につなぐ食と風土～」において、和菓子の歴史、それを生み出す職人の「わざ」の魅力等を発信。
- ・アイヌ文化の分野では、万博会場内で工芸品等の展示ブースを出展し、アイヌ文化の多様な魅力を国内外に積極的に発信。
- ・建築文化の分野では、万博会場内で『建築文化と循環経済の未来』を実施。その後、その内容を東京へ巡回させ、令和8年2月より国立近現代建築資料館において『日本の万国博覧会1970-2025 +描かれた未来と夢』を開催中。

【農水省】大阪・関西万博の開催期間のうち、「食と暮らしの未来ウィーク」期間中に、大阪・万博会場内のメッセ会場等にて展示を実施。

【国税庁】日本産酒類の試飲の提供や、展示ブースにおける「伝統的酒造り」等のPRを実施し、ブース内の様子がSNSを通じて発信される等、日本産酒類へ関心を高めることができた。

「知的財産推進計画2025」の進捗状況

(5) 日本ファンの拡大に向けて発信力を強化する

知的財産推進計画2025の方向性

- 2025年大阪・関西万博における日本の魅力の発信（続き）

主な進捗状況

【観光庁】 地域資源を活用した観光コンテンツの造成支援や地域周遊を促進するための支援、全国の観光施設等における受入環境整備やDXの推進、JNTO（日本政府観光局）・博覧会協会と連携した情報を発信。

【経産省】 大阪・関西万博会場において、「Japan Expo Paris in Osaka2025」を開催。マンガ、アニメ、音楽などのポップカルチャーをはじめとする「コンテンツ」や、伝統産業や地域ブランドなど日本が長年培ってきた「ものづくり」の魅力を国内外に発信。

【環境省】

「日本の国立公園の魅力発信」
日本の傑出した自然景観を有する国立公園の価値を発見・体感できるよう、「見る」「知る」「推す」「撮る」の4つのゾーンを回遊するデジタル形式の体験型企画展示を行い、国内外からの来場者へ発信。

「2030年ネイチャーポジティブの実現に向けて」
2030年ネイチャーポジティブに向けた取組（自然共生サイト、ネイチャーポジティブ経済、外来種対策、里海づくり等）に関する企画展示を実施。期間中の来場者数はおよそ2万7千人。来場者の意識改革と行動変容に係る機運醸成を促進する機会となった。

「知的財産推進計画2025」の進捗状況

(5) 日本ファンの拡大に向けて発信力を強化する

知的財産推進計画2025の方向性

- 「昭和100年」を契機として、昭和の文化に関連したイベントの開催を推進

- 国内に居住する外国人の日本ファンを増やすため、外国人起業家や留学生等を増加させるための課題の抽出

主な進捗状況

【内閣官房（100年）】 昭和期のマンガ・アニメ、映画、出版など昭和の文化に取り組む関係府省と連携し、関連したイベントの開催を検討、昭和元年から起算して満 100 年を迎える令和8年において推進する。

【知財】
クールジャパン官民連携プラットフォームを通じて、地域における高付加価値のモデル事例調査において外国人との連携に関する調査を実施。

【法務省】
在留資格の申請の簡素化、一定の要件を満たす場合の留学生の日本語能力の免除等。

【文科省】
在外公館や企業等との連携のもと、外国人学生の早期からのリクルートや帰国後のフォローアップまでを一体的に促進する日本留学サポート体制の強化。

【金融庁】
パンフレット等を活用し、金融機関及び外国人の受入れ企業等に対して金融サービスの利便性向上等に係る周知等を実施。

「知的財産推進計画2025」の進捗状況

(5) 日本ファンの拡大に向けて発信力を強化する

知的財産推進計画2025の方向性

主な進捗状況

- 留学モビリティの拡大及びその基盤となる日本人学生と外国人留学生がともに学ぶ環境の構築、大学間交流の強化等大学の国際化の推進

【文科省】多様で優秀な外国人留学生の誘致のための取組や奨学金の確保、日本人学生と外国人学生が共に学修する多文化共修環境の整備等を実施。

- 日本ファンの外国人ネットワークや国内外メディア等との連携

【知財】クールジャパン官民連携プラットフォームを通じて、地域における高付加価値のモデル事例調査において外国人との連携に関する調査を実施。また、英語圏向けWEBメディアでCJPFの取組の発信を予定。

- クールジャパン機構とクールジャパン官民連携プラットフォームの連携

【経産省】クールジャパン機構の既投資案件について当該プラットフォームに参加した会員との情報共有や連携支援を実施。

【知財】クールジャパン官民連携プラットフォームにおいて、クールジャパン機構を含む関係府省庁・関係機関に情報を提供するとともに、主催した勉強会(LAB)に登壇いただき、更なる連携を図った。